

令和4年度第1回連携中枢都市圏ビジョン懇談会 事前意見一覧

当日配布資料

	資料No.等	意見等	回答	担当課	提出委員
1	資料1	「圏域への移住者数」について、進捗率が伸びた要因が判りましたら教えて下さい。 また、その中に地域おこし協力隊の方が居られましたら何人か教えて下さい。	特定の要因を挙げることは困難ですが、ふるさと回帰志向やコロナ禍での地方移住に対するニーズが高まるなか、多くの移住希望者に圏域への移住を選択していただいたものと考えています。近年の傾向として、20代・30代の移住者の割合が高くなっています。 この世代の移住者は子どもを含む多人数世帯での移住が多いことも移住者数の伸びにつながったと考えられます。また、地域おこし協力隊については、これまで132名の隊員が着任しておりますが、そのうち26名が任期中で活動しており、55名が任期終了後に圏域内に定住しております。	鳥取市地域振興課	賛川委員
2	資料1-1 P1	No.4 地域商社活用事業 新商品の開発や既存商品のリニューアル、パッケージング開発事業、商品開発事業を実施。とあるが、具体的にどんな商品で、商品点数をお聞きたい。	鳥取市農政企画課より受託の「農産物販路開拓業務」内にて実施したものです。完成・未完成含めて7事業者9アイテムに取り組みました。 (例)「十割そば(ふるさと鹿野)」、「星空舞を使用したフリーズドライごはん」など。	鳥取市経済・雇用戦略課	中野委員
3	資料1-1 P2	No.7 森林保全推進事業 実施面積の目標値と実績に開きがある。コロナ渦の影響を受けにくい事業と思われるが、実績が振るわない要因をお聞きたい。	間伐等の造林事業面積の目標値を下回った要因としては、圏域の多くの市町で ①令和3年度は、7、8月に発生した豪雨及び台風9号により、多くの林道、作業道等の森林作業路網で被害が発生し、作業が遅延したこと ②例年より冬期積雪が多く、通常OfYearで実施できる3月期の予定作業が困難となったことが影響しています。	鳥取市林務水産課	中野委員
4	資料1-1 P2	No.8 林業従事者支援事業 林業労働者の確保のための支援もこの事業の目的である。林業労働者の確保のための1つの案として、日南町立林業アカデミーの奨学制度を支援することにより、卒業生の就職先として、圏域を選択してくれることが期待できると思う。(意見)	林業従事者確保に向けて、圏域自治体において雇用条件等の改善に向けた支援などを行っております。 ご提案いただいた内容を含め、新規的林業従事者への支援策を検討してまいりたいと考えます。	鳥取市林務水産課	中野委員

	資料No.等	意見等	回答	担当課	提出委員
5	資料1-1 P4	No.16 「麒麟獅子を生かした圏域活性化事業」 麒麟獅子舞を継承したい！と思ってもらうために、国内はもとより、海外で麒麟獅子舞を継承している団体と交流を行ってはどうかと思う。 (例えば 国内：横浜の高校 海外：ベトナムに麒麟獅子舞があります)	他地域との交流に関しては、これまで保存団体などが主体となっていて、埼玉県「獅子博物館」を通じた香川、岩手、沖縄などの保存団体との交流を行ったほか、海外においても、ニューヨーク、ベトナム、タイなどを訪れ、舞の披露や現地の人々との交流を行ってきたところです。今後も、北海道釧路市など、国内外の獅子舞保存団体に加え、同じ日本遺産である島根県の石見神楽保存団体会など、他の伝統文化関係団体も含め、幅広い交流を推進していく予定です。	鳥取市文化交流課	中野委員
6	資料1-1 P11	No.56 森のようちえん運営・活用事業 ・具体的な内容(ようちえんに対し何をしているのか?金銭的な支援なのか、人的支援なのか) ・「智頭」に限られている理由(鳥取市内にも「森のようちえん」…風りんりん、ぱっか、などがあると思うが)	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取市及び智頭町では、自市町の「森のようちえん」への運営費等を支援しています。また、鳥取市では、鳥取市のお子さんが智頭町の「森のようちえん」を利用された場合に、当該「森のようちえん」に運営費と保育料の支援を行っています。(智頭町においても、智頭町のお子さんが鳥取市の「森のようちえん」を利用される場合に同様に支援があります。) 保護者等から問い合わせやニーズが確認される際は、自市町の「森のようちえん」に加えて、他市町の「森のようちえん」を紹介するなど情報提供を行っています。 圏域では、鳥取市と智頭町にのみ、鳥取県の認証を受けた「森のようちえん」があります。鳥取市の「森のようちえん」である風りんりん、ぱっかについても運営費と保育料の支援を行っているところです。現在の連携中枢都市圏ビジョンでは、智頭町の「森のようちえん」を中心とした記載となっておりますが、次期ビジョンに向けて、記載内容を検討してまいります。 	鳥取市こども家庭課 智頭町教育課	太田委員
7	資料1-1 P11	No.56 「森のようちえん運営・活用事業」 対象園をお聞きしたい。(鳥取市のみでしょうか?)	圏域における「森のようちえん」対象園は、智頭町のまるたんぼう、鳥取市の風りんりん、ぱっかの3園になります。令和4年度は、ぱっかが認定こども園の認定を受けたことから、対象園はまるたんぼうと風りんりんの2園となります。	鳥取市こども家庭課	中野委員

	資料No.等	意見等	回答	担当課	提出委員
8	資料2	<p>第2期ビジョンの素案のたたき台が作成されているところと存じます。</p> <p>①当該圏域には多くの温泉地があります。それぞれの観光協会等において取り組まれておられると思いますが、鳥取県・兵庫県の県域をも越えた取組みとして、温泉地の魅力を圏域内外へ発信するための（「温泉」をキーワードとした）事業策定はできないのでしょうか。</p> <p>②また、同圏域には多くの歴史的資源（伝統的・歴史的建造物など）も存在しています。資源、財産を圏域内外へ発信し、観光まちづくりを進めるための事業策定はできないでしょうか。</p> <p>因みに、私が住んでおります湯村温泉では、「湯村の街なみを検討する会」を官民連携で組成し、地元の歴史的資源（「薬師堂」ほか）を町内外の方々に知っていただく取り組みを行っています。</p> <p>また、ガイドを養成するなど、観光にも繋げられるよう検討を行っているところです。</p> <p>以上①②、圏域のスケールメリット生かした独自の取組み・アイデアが生まれれば良いと考えます。</p>	<p>①豊かな自然に恵まれた麒麟のまち圏域には、山間部や海岸部、市街地などにそれぞれの特徴を持った温泉が湧き出ており、いずれもこの圏域の貴重な観光資源であると考えております。今年度は、これらの温泉地も含めた圏域内の観光スポットを周遊させる仕掛けとして、（一社）麒麟のまち観光局がSNS上で「きりんのまちポートレート2022」と題したインスタグラムフォトコンテストを実施しています。さらに、応募いただいた魅力的な写真素材は本年7月から6町の情報も掲載している鳥取市観光コンベンション協会ホームページを活用し、県内外への魅力発信を行ってまいります。</p> <p>②今年度、（一社）麒麟のまち観光局では2025年の大阪万博など将来的なインバウンド需要の獲得を見据え、山陰海岸ジオパークエリアを管轄する3つの地域連携DMO等が連携した首都圏や関西圏をターゲットとする新たな周遊ルートの造成に取り組むこととしています。この事業では、各観光圏域の「歴史・伝統・文化」「自然」「食」をテーマとすることとしており、大都市圏に向けて誘客促進のためのプロモーションも行う予定です。圏域の観光消費の拡大を目指し、引き続き、圏域のスケールメリットを活かした観光によるまちづくり、及び、誘客促進に努めてまいります。</p>	鳥取市観光・ジオパーク推進課	賛川委員